

「山科図書館だより」を復活しました！
しばらくお休みしておりましたが、新たに『山科ゆかりの文学シリーズ』を掲載して、「山科図書館だより」を発刊いたします。これまでと同様、ご愛読くださいますよう、お願いいたします。

山科ゆかりの文学シリーズ その1 「芭蕉と山科」—『野ざらし紀行』の旅—

「ええっ!あの芭蕉が山科に?」「知らなかった!」
という方も多いのではないのでしょうか。

貞亨2年(1684)春、松尾芭蕉は『野ざらし紀行』の旅の途中、山科から小関越(おせきごえ)を通り大津に向かったといわれています。このとき芭蕉は、山に「すみれ」が咲いているのを見て「山路(やまじ)来て何やらゆかしすみれ草」という、とても素敵な句を詠んでいます。山路で出会った「すみれ」の可憐な花が旅路の心をひきつけ、芭蕉は詩心を動かされたのでしょう。

ところで、この句は、平安時代の歌人 大江匡房(おおえのまさふさ)が読んだ和歌「箱根山 薄紫のつぼすみれ ふたしほみしほ たれか染めけん」を下敷きにしているといわれています。そうだとすると、芭蕉が見たすみれの種類は「つぼすみれ」だったのでしょか。大津では「唐崎の松は花より朧(おぼろ)にて」という幻想的な句を残しています。大津から唐崎の名木の松を眺めた情景を詠んだものです。

※「野ざらし紀行」…芭蕉の最初の紀行文。貞亨元年8月から翌年4月まで、江戸から東海・近畿などを旅し、折々の旅情をまとめたもの



図書館からのお知らせ

- ★11月2日(木) おとなのための朗読会
午前11時～ 京都橘大学放送研究部
- ★11月19日(日) 第3回山科文学探訪
「芭蕉ゆかりの小関越えを大津まで歩く」
案内：鏡山次郎氏(ふるさとの会事務局長)
協力：ふるさとの会・大津市立図書館
《文学探訪ルート》
京阪「四宮駅」→小関越→本福寺(芭蕉寺・住職のお話)→大津市立図書館(芭蕉コレクション)
※申込受付終了

定例行事 11月予定

- ☆11月6日(月) 赤ちゃんの会～だっこくらぶ～
午前11時～ 鏡山保育所
- ☆11月18日(土) おたのしみ会
午前11時～ 図書館職員
- ☆11月20日(月) 赤ちゃんの会～トコトくらぶ～
午前11時～ そのえだなかよし文庫
- ☆11月25日(土) Head Shoulders で遊ぼう!
午後2時30分～ヒッポファミリークラブ

新着図書紹介

- ・「墨の香」梶よう子/著
- ・「明治維新の正体」鈴木荘一/著
- ・「検証 産経新聞報道」週刊金曜日/編
- ・「スタンフォード式最高の睡眠」西野精治/著
- ・「山本直純と小澤征爾」柴田克彦/著

今月の展示

- ◆「仕事・働くこと」…毎日お勤めお疲れ様です。楽しいこともつらいことも…。でも、がんばっていきましょう!仕事に関する本を集めました。

コーナー紹介

- ◇「山科コーナー」…わが町「山科」を知りたい方々へ!山科に関する本をまとめています。別置記号「LY」
目印は背表紙の「ぶっくろう」です→

